

プロポーザル結果について

令和4年8月29日付で募集したプロポーザルについて、次のとおり特定しましたので、お知らせします。

令和4年10月11日

富山市長 藤井 裕久

記

- 1 業務名
（仮称）富山市スマートシティ推進ビジョン啓発・PR業務委託
- 2 受託候補者の特定日
令和4年10月6日
- 3 参加者（3者）
株式会社シー・エー・ピー
株式会社読売エージェンシー中日本 富山支社
（仮称）富山市スマートシティ推進ビジョン啓発・PR業務委託共同企業体
代表構成員 株式会社北陸博報堂 富山支社
- 4 選考委員会委員
委員長 前田 一士 企画管理部長
副委員長 刑部 博規 財務部次長
委員 舟崎 文彦 市民生活部理事
委員 藤沢 晃 商工労働部次長
委員 初田 正樹 富山県知事政策局デジタル化推進室
デジタル戦略課長
- 5 評価基準及び評価結果一覧表
別紙のとおり
- 6 特定した参加者名
株式会社読売エージェンシー中日本 富山支社
- 7 提案額
4,999,500円（消費税及び地方消費税含む）

（担当）財務部契約課物品契約係
（電話）076-443-2024
（メール）keiyaku-01@city.toyama.lg.jp

評価基準及び評価結果一覧表

番号	評価項目	評価の考え方・着眼点	評価				
			配点	株式会社読売 エージェンシー中 日本 富山支社	C社	A社	
1	業務経歴等	<同種・類似業務の実績> ・過去5年間にわたって、十分と考えられる実績があるか。	50	32	32	26	
2	実施体制	<執行体制・人員配置の妥当性> ・指揮系統が明確で、業務の分担や責任の所在が明らかとなっているか。	50	32	32	30	
3		<取組方針・実施スケジュール> ・具体的で詳細なスケジュールが提案されているか。 ・実現可能性のある無理のないスケジュールであるか。	100	68	64	44	
4	提案内容	<提案内容の適格性①> コンセプトを理解した上で、市民に伝わりやすいPRイベントが提案されているか。	100	76	68	56	
5		<提案内容の適格性②> 市民に伝わりやすいビジョン全体のコンセプトイメージ図を作成するための提案がなされているか。	50	36	36	28	
6		<提案内容の適格性③> コンセプトを理解した上で、市民に伝わりやすいPR動画の作成方針や成果物イメージ等(絵コンテや冊子イメージ等)のPRツール案が提案されているか。	100	72	68	48	
		実現性	<提案内容の実現性①> 実現性の高いイベントの広報活動が提案されているか。	50	36	36	26
7			<提案内容の実現性②> スマートシティの機運の醸成に資するようなPRツールの利活用方法が提案されているか。	50	34	36	28
8			<提案内容の実現性③> それぞれのPRコンテンツに統一感のあるデザインを採用するなど、一体感があり、また相乗効果を生み出すような啓発・PRとなっているか。	50	32	38	28
	独自性	<提案内容の独自性> (仮称)富山市スマートシティ推進ビジョンのPRに資する独自の提案がなされているか。	100	72	72	56	
9	価格	費用対効果 <提案価格> ・履行に必要な費用の算出根拠が明確か。 ・提案内容に対して価格が優れているか。	50	40	40	50	
評価の合計(150点満点)			750	530	522	420	

※(注)表中の点数は選考委員5名の総合計: 150点×5名=750点(満点)

本プロポーザルにおける受託候補者は、各委員による評点の合計が90点以上(満点の6割以上)である提案者のうち、評点の合計の最も高い者を選定する。

ただし、評点の合計が同値の者が複数いる場合は、最も高い評点を得た委員数の多い提案者を受託候補者として選定する。

上記の選定においても受託候補者が決定しないときは、抽選とする。

一者のみ参加のときは、あらかじめ決定した選定最低基準点を満たしていれば受託候補者として特定することとする。